

◆ Inter BEE 2019 : 9月27日、公式 Web サイトで入場事前登録を開始

一般社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA : 代表理事 / 会長 遠藤信博 日本電気株式会社 取締役会長) は、本日、11月13日 (水) から15日 (金) までの3日間、幕張メッセ (千葉市) で開催する「Inter BEE 2019」の入場事前登録とセッション聴講予約を、9月27日 (金) より Inter BEE 2019 公式 Web サイト (<https://www.inter-bee.com>) で開始することを発表した。※入場無料

■過去最大規模での開催を見込む

Inter BEE は、最新の映像・放送・通信・音響・照明・メディアビジネスのイノベーションが一堂に集まることはもとより、コンテンツを中核として「つくる (制作)」「おくる (伝送)」「うける (体験)」の領域を網羅する新しいメディアコミュニケーションとエンターテインメント総合イベントとして成長している。

Inter BEE 2019 では本日時点で過去最多となった前回の出展者数 1,152 社を上回るペースでの出展申し込みがあり、最終的には過去最大規模での開催となることを見込んでいる。

■進化し変革するスポーツコンテンツの最前線を発信

今回の新たな取組みとして、放送・通信・ライブを通じたキーコンテンツとして日々進化・変革するスポーツコンテンツをテーマに、基調講演のセッションと特別展示を実施する。

オリンピック・パラリンピックを来年に控え、放送や通信・ライブなど多角化するメディアは、最新のテクノロジーを活用してどのようにスポーツを伝え、表現するのか。基調講演では開催初日の特別テーマをスポーツとし、様々な角度からスポーツコンテンツの最前線を発信する。

また展示ホールでは、スポーツコンテンツの制作・中継・配信を変革する最新のテクノロジー、ソフト、ツール、サービスなどを紹介する特別展示「INTER BEE SPORT」を実施する。

■ IP 最新動向、放送と通信の融合、拡張するメディアとコンテンツ・クリエイティブ

展示ホールでは、様々な視点からメディアとエンターテインメントの最新動向をとらえ、今後の可能性を提案・発信する4つの特別企画を実施。

「INTER BEE IP PAVILION」では国内でも導入が始まっている IP ライブ伝送の技術と製品を稼働させる特別展示を実施。

さらには、加速する放送と通信の融合から放送の次のステップを提案する「INTER BEE CONNECTED」、新たなメディアへと拡張する表現・コンテンツの可能性を提案する「INTER BEE IGNITION」、映像制作の最前線から最新動向とその創造性を発信する「INTER BEE CREATIVE」と、メディアとエンターテインメントの現在と未来を多角的に発信する。

■ 100 セッション以上を 3 日間で開催

今年の INTER BEE FORUM の注目キーワードは、スポーツ、AI、5G、IP 化、4K8K コンテンツ制作、ラジオ経営などがあげられる。

多彩なテーマで合計 100 以上のセッションが Inter BEE 2019

開催中の3日間で展開される。

INTER BEE FORUM の各セッションと、展示ホールで開催される特別展示 / ステージでのセッションは、Inter BEE 2019 公式 WEB サイトで事前聴講予約を受付中。

※一部ミニステージは除く。

■過去最大！世界規模の高品質スピーカ体験

Inter BEE の恒例企画となった「INTER BEE EXPERIENCE」。ライブイベントなどで使用するスピーカ体験デモを今年も実施します。幕張メッセイベントホールの大型アリーナに過去最多の15ブランド18製品が一堂に会して大音響でそのクオリティを体感できます。また、展示ホールでは、プロユースのマイクロフォンとヘッドフォンの体験コーナーを実施し、聞き比べる機会が少ない高品質製品が並び貴重な機会となる。

Inter BEE では、国内外の出展企業の最新製品の展示・プレゼンテーションと、様々なテーマのコンファレンスセッションや体験イベントを通じ、近未来のメディアコミュニケーションとエンターテインメントの世界を体感できる。

放送・通信事業者、映像・音響制作関係者はもとより、ひろく一般企業や地方自治体の広告・マーケティング担当者や、デザイン・Web 制作関係者、施設・イベント関連事業者など、多くの方々の来場を期待します。

最新情報および詳細は、公式 Website を参照。

<https://www.inter-bee.com>



【開催概要】

■名称：Inter BEE 2019 / (第55回) 2019年国際放送機器展

■会期：2019年11月13日 (水)・14日 (木) 10:00-17:30

11月15日 (金) 10:00-17:00 (3日間)

■会場：幕張メッセ (展示ホール 1 ~ 8、イベントホール、国際会議場) 千葉県千葉市美浜区中瀬 2-1

■入場：無料 (登録制)

■主催：一般社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA)

■後援：総務省、経済産業省 (建制順)、NHK、一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人電波産業会、一般財団法人デジタルコンテンツ協会、一般社団法人放送サービス高度化推進協会 (順不同)

◆ CEATEC OFFICIAL MAIL MAGAZINE

AI、5G、空、街、スマートホームセッションや、
Open Innovation !!

<https://srt.ceatec.com/2kQLcbC>



【Topics】

1. 現在聴講予約可能なセッションを紹介！

【10/17 (木) 3日目編その1】

2. Open Innovation Discovery

オープンイノベーション探していませんか？

3. CEATEC News

4. 出展各社見どころ更新情報

5. CEATEC 2019 入場事前登録受付中！

●パラマウントベッド株式会社は、睡眠と健康領域の新ブランド「Active Sleep (アクティブスリープ)」にて、角度が自動で変化する「Active Sleep BED (以下ASB)」、硬さを自在に変えられる「Active Sleep MATTRESS」、睡眠状態を測定する「Active Sleep ANALYZER (以下ASA)」を展開している。

ブース【B003】では、ASB・ASAの展示のほか「Home Solution」「Business Solution」の2つのエリアを用意し、様々な企業様との取り組み事例を展示。日本初の、睡眠状態に合わせてベッドの角度が自動で変わる「眠りの自動運転」の可能性をブースで体感できる。

●東京ビジネスフロンティアは、中小企業の製品・技術、サービスが社会へ導入される一助として、この度CEATEC 2019のトータルソリューション(6ホール、A-009)に出展。魅力あふれる中小企業を一堂に展示することで、日本全国の優れた中小企業の製品・サービスを広く発信していくことを目的としている。パビリオン内では、未来の共創を目指す「安心・安全、防災」「環境」「スポーツ・健康」「バリアフリー」分野の中小企業20社が出展。AI技術やIoTを活用した製品やサービスなど幅広く展示している。

IoT技術の発展、進化によって、現在IoTは家庭や職場などさまざまなシーンで活用されている。今後は各分野との連携や連動に加えて、さらなる技術の進化や5Gのサービス開始などによって、Society5.0時代におけるSmart Cityが実現していくと考えられる。

●村田製作所(小間番号:7ホール H021)では、Society 5.0を支える当社ならではのバッテリー、通信、センサ関連製品に加え、無線通信分野での技術知見を活かした屋内位置検知ソリューションや、普段見ることが出来ない人の感情や場の雰囲気可視化するソリューションを紹介する。

1. 現在聴講予約可能なセッションを紹介！

【10/17 (木) 3日目編その1】

<https://srt.ceatec.com/2kOVNnm>

CEATEC CONFERENCEは、KEYNOTE/SUMMITの他にも多彩なセッションが盛りだくさん。

【全セッション無料/事前聴講予約あり】

≪A会場≫定員1,000名

■ 10:00-12:00

『AI Summit ~ DXを実現するAI技術の利活用とその課題~』
株式会社フィリップス・ジャパン 代表取締役社長 堤 浩幸氏
アマゾンジャパン合同会社 ハードライン事業本部バイスプレジデント 渡部 一文氏

株式会社 東芝 執行役常務 最高デジタル責任者 島田 太郎氏

<https://srt.ceatec.com/2kLHJLf>

■ 13:00-13:45

『未来の空を考える - 「新しい空域の経済化」が実現した社会とは -』

ANAホールディングス株式会社 デジタル・デザイン・ラポート チーフ・ディレクター 津田佳明氏

エアロネクスト株式会社 代表取締役社長 田路 圭輔氏

<https://srt.ceatec.com/2miPicU>

■ 14:45-15:30

『サステナブル社会の実現を目指した Society 5.0 に対応する竹中工務店のまちづくり』 株式会社竹中工務店

取締役執行役員社長 佐々木 正人氏

<https://srt.ceatec.com/2kOVNDS>

≪B会場≫定員500名

■ 10:30-12:00

『5Gが変える未来と米国テクノロジー最前線 主催:米国大使館』

協力:ベライゾンメディア・ジャパン』

アメリカ大使館商務部 商務外交官による挨拶

アメリカ大使館 商務部 上席商務官 Mohmoud Chikh-Ali氏

5Gがもたらすビジネスチャンス Engadget/ TechCrunch Japan

編集部によるパネルディスカッション

ベライゾンメディア・ジャパン株式会社/Engadget 日本版編集長 矢崎 飛鳥氏、ベライゾンメディア・ジャパン株式会社/TechCrunch Japan 編集統括 吉田 ヒロ氏、接続性の推進:5G IoTの環境下におけるLiDARの役割/Quanergy CEO ロエ・エルダダ博士、5Gとスマートグラスが提供する近未来の生活/ビュージックス コーポレーション 東京支店長 藤井 慶一郎氏

<https://srt.ceatec.com/2mljtA3>

■ 12:45-14:15

『スマートホーム新時代 ~生活者データを心地良く取得し、活用するための家庭内ユーザエクスペリエンスとは?』

国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学 副学長 先端科学技術研究科 教授 丹 康雄氏、シャープ株式会社 IoT事業本部 技術担当 副事業本部長 白石 奈緒樹氏、株式会社 LIXIL ビジネスイノベーション統括部 統括部長兼 IoT技術センター長 三原 寛司氏、トレジャーデータ株式会社 マーケティング担当ディレクター 堀内 健后氏、THE GUILD インタラクティブ・デザイナー 深津 貴之氏、株式会社 HEART CATCH CEO / プロデューサー 西村 真里子氏

<https://srt.ceatec.com/2miPhWo>

《C会場》定員 200名

■ 10:15-11:15

『Carbon's Digital Manufacturing Platform - production examples across several industries』

Carbon, Inc Enterprise Partnerships Vice President

DiLaura Paul 氏

<https://srt.ceatec.com/2mi8pDY>

■ 14:00-14:45

『台湾デジタル科技領域の発展』

財団法人資訊工業策進会 産業情報研究所 主任 張 奇 氏

<https://srt.ceatec.com/2mowngA>

★まだまだ多くのセッションを開催。

最新の CEATEC CONFERENCE 全プログラムはこちらから

<https://srt.ceatec.com/2kHkguC>

2. Open Innovation Discovery

オープンイノベーションをお探しのあなたにスタートアップ等によるピッチ、製品デモ、講演を日替わりで開催いたします。

<https://srt.ceatec.com/2mowngla>

【ピッチ】事前予約制

■ 10/15 (火)

NICT「起業家万博」in CEATEC 2019 ～地域発 ICT スタートアップが創る未来～

■ 10/16 (水)

NICT「起業家万博」in CEATEC 2019 ～地域発 ICT スタートアップが創る未来～

■ 10/17 (木)

NICT「起業家万博」in CEATEC 2019 ～地域発 ICT スタートアップが創る未来～

“Change The World” PITCH by 三井住友海上キャピタル

■ 10/18 (金)

INCF 社会課題解決ソリューションピッチ powered by MRI

【講演】事前予約制

■ 10/15 (火)

STARTUPS × 知財戦略～ CVC を通じた知財の共創～

STARTUPS × 知財戦略～オープンイノベーションを成功に導く知財の活用～

■ 10/18 (金)

<満席> MaaS により実現される将来の生活や新産業創出

【製品デモ】

■ 10/15 (火)

株式会社 Preferred Networks

■ 10/17 (木)

株式会社 AI Samurai / 株式会社ワークス

■ 10/18 (金)

小田急電鉄株式会社 × 株式会社ヴァル研究所

株式会社 Preferred Networks

3. CEATEC News

■株式会社 Enhanlabo (エンハンラボ)、「見え方」と「かけ心地」を追求したメガネ型ウェアラブル「b.g.」を CEATEC に初出展

<https://srt.ceatec.com/2mjviXw>

■神奈川工科大学情報工学科、今年で、CEATEC 10 回目の出展。

<https://srt.ceatec.com/2kQLcLE>

4. 出展各社見どころ更新情報

<https://srt.ceatec.com/2miPhFS>

■「CEATEC 2019 ～つながる社会、共創する未来～」に出展

<https://srt.ceatec.com/2mljtQz>

■午睡中の乳幼児の安全を見守る IoT 睡眠チェックアプリ

「Hoimin (ホイミン)」

<https://srt.ceatec.com/2kHksdk>

■不動産、教育、シニアライフ等「世の中の課題をロボティクスで解決する」ユカイ工学

<https://srt.ceatec.com/2kLHGix>

■Aeotec 700 シリーズを搭載した Z-Wave ログ認証済製品を初出展

<https://srt.ceatec.com/2mqRtR>

5. CEATEC 2019 入場事前登録受付中！

<https://srt.ceatec.com/2mpzF37>

CEATEC の入場には WEB での入場事前登録が必要！

スマホからの入場事前登録による入場も可能。

コンファレンスの聴講予約もこちらから！

<https://srt.ceatec.com/2kQLcZa>

★2019 年の主な注目ポイント

1. 未来社会のデザインが一堂に -Society 5.0 が実現する未来を体験-

◎ Society 5.0 TOWN ～「2030 年のまち」を構築する企画エリア～

<https://srt.ceatec.com/2mpzFA9>

2. 共創する未来に向けて、最新の技術と各分野のリーダーが集結！

◎出展者一覧 (随時更新！)

<https://srt.ceatec.com/2miPj00>

◎ CONFERENCE (随時更新！)

<https://srt.ceatec.com/2kOVOYs>

3. 次世代を担うフロントランナーが集結するグローバルエリア

◎ Co-Creation PARK

<https://srt.ceatec.com/2mownx6>

《CEATEC 公式 SNS》

◎ Twitter

<https://srt.ceatec.com/2miPqZW>

◎ Facebook

<https://srt.ceatec.com/2midHPR>

◆東京国際映画祭×NTTドコモ特別企画「TIFF プラス Tech」：5Gで実現する世界をいち早く体験できるイベント

第32回東京国際映画祭

Virtual × Real × Tech ライブ～ featuring 直感×アルゴリズム♪～

昨年、東京国際映画祭は様々なジャンルの文化とコラボレーションし、「東京国際映画祭にプラスする」特別企画、「TIFF プラス」を実施しています。本年度は、さらにNTTドコモとの特別企画「TIFF プラス Tech」と称し、バーチャルライブをいち早く体験できるイベントを映画祭期間中に実施する。

イベントでは、バーチャルアイドルとリアルな出演者および当日来場した参加者が高速3Dスキャンシステムを通して、最新のVR空間ライブシステム内で共演する「Virtual × Real × Tech ライブ featuring 直感×アルゴリズム♪～」を実施する。このイベントでは、会場に設置された大型LEDスクリーンでの視聴に加え、没入感のあるVR HMD視聴体験も提供します。このイベントを通じ来場者に5Gをはじめとする最新技術に触れる体験で、国内外に日本の新しいエンターテインメントをアピールしていくとしている。なお本企画は、経済産業省が支援する「コンテンツグローバル需要創出等促進事業（JLOD）」において、世界に向けて発信するデジタル技術を活用した先進性の高いコンテンツの制作に関する取り組みとして採択された。



第32回東京国際映画祭

Virtual × Real × Tech ライブ～ featuring 直感×アルゴリズム♪～

実施会場：六本木ヒルズアリーナ（東京都港区六本木6丁目9-1）

実施日時：2019年11月2日（土）～11月3日（日）

実施時間（11月2日、16:00～（1部）・18:00～（2部）

実施時間（11月3日、16:00～（1部）・18:00～（2部）

出演者：バーチャルキャラクター：キリン・シー（直感×アルゴリズム♪） MC：現在調整中

イベントイメージ



概要

大型LEDビジョンを配置した特設ステージで、会場内に設置された株式会社ワントゥーテンの高速3Dスキャンシステム「ANATOMe™」を使用して、イベント当日生成された来場者の3Dアバターをバックダンサーに「直感×アルゴリズム♪」の音楽にあわせて、ミュージックライブや映画祭にちなんだバーチャルキャラクターとの共演を体験いただけます。またLEDビジョンでの視聴に加え、実際に5Gネットワークを構築し、パルス株式会社が開発した次世代リアルタイムライブ配信システム「INSPIX LIVE」を導入した5G対応スマートフォンを使ったVRゴーグルでより没入感のあるVRライブステージを体験いただけます。本ステージでは、「直感×アルゴリズム♪ 2nd Season」を手掛けた株式会社DMM.RESORTSがCG映像制作を担当し、株式会社ジャストプロが総合プロデューサーとしてVR、大型LEDビジョン双方で観客が楽しめる演出を実現。また、本ステージ

の運営は「直感×アルゴリズム♪」をはじめ数々のイベント制作実績を持つ株式会社Aliceが担当します。ドコモはこれら協創パートナーと共にまったく新しいバーチャル×リアルの融合ステージ体験を提供する。

第32回東京国際映画祭 開催概要

■開催期間：2019年10月28日（月）～11月5日（火）

■会場：六本木ヒルズ、EXシアター六本木（港区）、東京ミッドタウン日比谷 日比谷ステップ広場（千代田区）他

■公式サイト：www.tiff.jp.net

★東京国際映画祭のご取材には、必ずプレスパス登録が必要となります★プレスパスなき場合は、映画祭開催期間中のご取材はできません。詳しくは東京国際映画祭公式HPを確認のほど。

◆TIFFCOM：海外からの出展とパビリオンが急増、中国主催セミナーには石井裕也監督登壇も総出展団体数が過去最高の401を記録！

中国からの出展数激増もあり「CHINA DAY」の開催が決定！

東京国際映画祭併設の国際映像見本市である

TIFFCOMは、今年もJapan Content Showcase JCSとしてアニメーション関連を中心とした東京国際アニメ祭（TIFF）と、音楽の国際マーケットである東京国際ミュージックマーケット（TIMM）と共に開催する。

16回目を迎えるTIFFCOMは401団体の出展が決定、過去最高の総出展団体数となる。特に、アジア最大規模のコンテンツマーケットとしての認知度が高まったことから回を重ねるごとに海外からの出展が増加し、今回、国外からの出展は229団体（2018年176団体、昨年対比130に上ります。初出展国としては、ブルガリア、フィンランド、サウジアラビアが名を連ねた。また、アジア各国のパビリオンへの出展意欲が非常に高く、海外パビリオン数自体は10、2018年8、同125%）、パビリオンへの出展団体数に至っては189団体（2018年123、同153.8%）となっている。特に中国からは2つのパビリオンの初参加が決定し出展が激増、全体では昨年の14団体から6.4倍増の90団体が参加となります。TIFFCOMでは、昨年、日中映画共同製作協定が締結されたことなども勘案し、一層の協業を推進すべく初の試みとして、初日の10月22日（火）を「CHINA DAY」とした。

当日は、映画監督の石井裕也氏（『舟を編む』『町田くんの世界』）の登壇が決まった「映画・テレビ業界における国際交流」ほか中国関連のセミナー2本に加え、TIFFCOM Welcome Partyを中国と共同開催する。また、参加者からの期待に応える形で3年連続の実施となるIP（知的財産）、Book Adaptation（書籍の映画化、映像化）に今年はより注力し、漫画、書籍、キャラクター、アニメ、映画、テレビ、音楽、アート、ゲームなどの二次利用の一層の活性化に貢献していく。

このほか、今回に限り、池袋会場で開催されるTIFFCOM・TIAFと、渋谷会場で開催されるTIMM（10/28（月）～30（水））、およびTIFFCOMの共催イベントである第32回東京国際映画祭（10/28（月）～11/5（火））の日程が異なるため、海外から両会場へお越しのお客さま向けに、最新のジャパンカルチャーに触れることのできる魅力的なスペシャルオフアーツアールをご用意した。

※上記に記載の数字は、2019年9月17日現在のもの。

開催概要

日時：TIFFCOM/TIAF：2019年10月22日（火）～24日（木）

TIMM 2019年10月28日（月）～30日（水）

※30日（水）はライブのみ

会場：池袋 サンシャインシティ コンベンションセンター（TIFFCOM/TIAF） 渋谷 渋谷エクセルホテル東急（TIMM）ほか

主催：経済産業省、特定非営利活動法人映像産業振興機構、公益財団

法人ユニジャパン、一般財団法人経済産業省、特定非営利活動法人映像産業振興機構、公益財団法人ユニジャパン、一般財団法人日本日本音楽音楽産業・文化振興財団、一般社団法人日本動画協会日本動画協会

共催：第32回東京国際映画祭

出展対象：映画、テレビ、アニメーション、音楽、出版、キャラクター、ゲーム、モバイル/インターネット、映画、テレビ、アニメーション、音楽、出版、キャラクター、ゲーム、モバイル/インターネット、ホーム・エンタテインメント（VOD、DVD、Blu-ray）イベント/コンサートなどのコンテンツホルダー及び関連団体・企業

公式 Web サイト：<https://www.jcs.tokyo/ja>

2018年実績：出展団体数 382 / 来場バイヤー数 823

後援：総務省、外務省、観光庁、豊島区

<以下あいうえお順>

一般社団法人映画産業団体連合会、一般社団法人衛星放送協会、一般社団法人外国映画輸入配給協会、国際交流基金アジアセンター、一般社団法人コンサートプロモーターズ協会、一般社団法人コンピュータエンタテインメント協会、一般社団法人私的録音補償金管理協会、一般財団法人デジタルコンテンツ協会、協同組合日本映画製作者協会、一般社団法人日本映画製作者連盟、一般社団法人日本映像ソフト協会、一般社団法人日本音楽事業者協会、一般社団法人日本音楽出版社協会、一般社団法人日本音楽制作者連盟、一般社団法人日本音楽著作権協会、一般社団法人日本経済団体連合会、公益財団法人日本芸能実演家団体協議会、独立行政法人日本貿易振興機構、一般社団法人日本民間放送連盟日本民間放送連盟、一般社団法人日本レコード協会

【問い合わせ先】

Japan Content Showcase 事務局事務局

TIFFCOM 広報担当：広報担当：越川越川

E-mail press@tiffcom.jp

TEL.03-6226-3020 FAX.03-6226-3024

JCS 公式サイト公式サイト：<http://www.jcs.tokyo/ja/Japan>

◆ Content Showcase 2019 バラエティに富んだ各種セミナープログラムが遂に決定

TIFFCOM 池袋会場

1. 日中映画共同製作協定認定作品への出資準備と青島撮影スタジオ複合施設のご紹介

日時：10月22日（火）10:30～12:00

昨年5月に締結された日中映画共同製作協定を受け、北京・青島の政府企業が認定作品への積極的な出資事業を開始、認定作品の共同製作パートナーを募集している。併せて青島市の撮影スタジオ複合施設、施設利用に伴う補助金制度を紹介する。中国での出資比率に応じた回収を可能とする新たな試みに参加を呼びかけている。

【主催】文投威風（青島）传媒有限公司

2. 中日映画・テレビ業界における国際交流について

日時：10月22日（火）14:00～15:30

①中国における優秀な映画・TVドラマ作品についての紹介

②「国宝」はとても人気の高いバラエティ番組である。番組では毎回セレブリティが実際の博物館を見学し、その興味深い歴史と価値を探求し、さらには、専門家によってその文化遺産の現代における意義が議論される。

視聴者はオンライン投票をし最終話で結果が明らかになる。勝者である国宝は北京の紫禁城で行われる特別展示にて展示される。TVとポータルサイトでの視聴数は22億人に達し、オンラインコメントの総数は50億を超えた。「国宝」は即座に文化的な現象となった。

③フォーラム（テーマ：中外国際共同製作）

④プレゼンテーション：上海テレビ祭 / 上海国際映画祭のプレゼンテーション：概要紹介、主要イベント、合作プラットフォーム等

⑤プレゼンテーション：“上海市映画テレビ撮影制作サービス機関”は、上海にて映画TVドラマなどを撮影する際に、無料で相談を受け、ロケ地コーディネートサービス等を提供している。

【主催】1. 中華人民共和国国務院新聞弁公室

1. 中華人民共和国国家広播電視総局

2. CCTV バラエティチャンネル & CCTV 国際的ドキュメンタリーメディア有限公司

3. 中華人民共和国国務院新聞弁公室 3. 中華人民共和国国家広播電視総局

4. 上海国際映画テレビ祭センター

5. 上海市映画テレビ撮影制作サービス機関

3. MPA DHU TIFFCOM マスタークラス セミナー&ピッチング・コンテスト開催

日時：10月23日（水）10:00～13:00

第1部のマスタークラスセミナーでは若手映画製作者の海外展開へのプラットフォーム構築を目的として、二人のゲストを招いた。40年以上にわたり、映像業界にて広報、マーケティング、行政施策を担当してきたヴァンス・スティーベンソン氏（アメリカ映画協会シニア・バイス・プレジデント ステートガバメントアフェア）に、世界のフィルム・インセンティブとフィルム・メーカーへのサポートについて話を聞きます。『マッドマックス 怒りのデス・ロード』『グレート・ギャツビー』『ホビット』などの制作に携わり、ハリウッドの第一線で長年に渡り活躍し続けるプロデューサーのジョン・カイパー氏を迎え、映画製作の極意を語っていただきます。第2部では企画ピッチングを開催。優秀企画にはハリウッドへの研修旅行が授与される。※第1部・第2部ともに事前予約制

【主催】モーション・ピクチャー・アソシエーション（MPA）、デジタルハリウッド大学（DHU）、TIFFCO

【提携】SCREEN INTERNATIONAL

4. FOCUS ON ITALY

日時：10月23日（水）15:30～17:00

①プロダクション インセンティブと映画配給のためのファンドの概要について 映画製作プロジェクトにおける資金調達、製作、および撮影などの国際的重要拠点であるイタリアの映画業界は、対内投資誘致について 強固な実績を持っています。本セッションでは、イタリア映画の資金調達と規制の状況を解説し、イタリアとの共同製作の機会を明確に提示することを目的としています。さらに、海外でのイタリア映画公開を目的とする“The Italian Film Distribution Fund（訳イタリア映画配給基金）”が発表されます。2. アニメーションにおける戦略的プランアニメーション業界は、その技術、クリエイティビティ、ビジネスが互いに絡み合う文化的および経済的な要素から、イタリアの映像産業の重要な部分を担っている。本セッションでは、イタリアのアニメーション業界の概要を説明し、国際的なコラボレーションを促進することを目的としています。

【主催】ANICA (Italian Film and Audiovisual Multimedia Industries Association)

※セミナー情報は随時更新いたします。

上記の池袋会場詳細は公式サイトもご覧くださいませ。

池袋会場セミナー詳細：

<https://www.jcs.tokyo/ja/event/event-list-ikebukuro/>

またTIMMセミナーは渋谷会場にて、10月28日（月）から29日（火）に行われる。

渋谷会場セミナー詳細：<https://www.jcs.tokyo/ja/event/event-list-shibuya/>

<問い合わせ先> JCS 公式サイト：<http://www.jcs.tokyo/ja/>

◆シーグラフアジア 2021 (SIGGRAPH Asia 2021)、再び東京にて開催

ACM SIGGRAPH は2019年9月18日、シーグラフアジア 2021 (SIGGRAPH ASIA 2021) の開催都市を東京に決定したことを正式に発表した。また、カンファレンスチェア (大会委員長) には、株式会社ポリゴンピクチャーズの代表取締役塩田周三氏が就任することが決定した。塩田氏は、シーグラフ (SIGGRAPH)、シーグラフアジア (SIGGRAPH ASIA) の様々なイベントに長きにわたり携わり、コンピュータ・グラフィックス業界においても幅広くその功績が知られている。

東京都及びローカルコミュニティの強力なサポートにより、再び日本での開催に至ったが、シーグラフアジアが日本で開催されるのは、2009年の横浜大会、2015年の神戸大会、2018年の東京大会に続き今回で4回目。また東京開催は今回で2回目となります。会場は再び、東京の中心に位置する最先端のコンベンションセンター東京国際フォーラム (TIF)。

新たに就任が決まったシーグラフアジア 2021 カンファレンスチェアの塩田周三氏は次のように述べている。「東京がシーグラフアジア 2021 の開催都市に選ばれたことにワクワクしています！

昨年の東京開催での素晴らしい実績により、確実にそのレベルと期待値は上がっています。シーグラフコミュニティによる素晴らしい提案や貢献と相まって、この都市が生み出すダイナミズムが参加者全員に新たな創造性とインスピレーションをもたらすと確信しています。」

シーグラフアジア 2021 カンファレンスチェアのご紹介

塩田 周三 株式会社 ポリゴンピクチャーズ代表取締役 上智大学法学部国際関係法学科卒業。1991年 新日本製鐵株式会社入社。1997年 株式会社ドリーム・ピクチャーズ・スタジオ立ち上げに参画。1999年ポリゴンピクチャーズに移籍。2003年代表取締役に就任し、海外マーケット開拓に注力。以来、同社はアジアで最高のデジタルアニメーションスタジオとして急成長し、世界中で数々の賞を受賞。2008年には、米アニメーション専門誌「Animation Magazine」が選ぶ「25 Toon Titans of Asia」の一人に選出。複数のエミー賞受賞歴。Audi Wired Innovation Award 2016を受賞。また、Prix Ars Electronica (オーストリアにて開催)、Ancey, Digicon6 など、他の多くの映画祭でも審査員を務める。2015年のTED x Kyoto 等、世界中で講演を行う。趣味はバンド活動、ボーカルを担当。

シーグラフアジアとは

シーグラフアジア (SIGGRAPH ASIA) は、コンピュータ科学分野の国際学会 (ACM: Association of Computing Machinery) の分科会「SIGGRAPH」が毎年冬にアジアで主催する、コンピュータ・グラフィックスとインタラクティブ技術の研究発表・展示を行う国際会議。1947年に設立された ACM は、世界のコンピューティングエドゥケーター、研究者、専門家を結集させ、対話を促し、リソースを共有し、フィールドチャレンジに対処する学会。

2008年より、ACM SIGGRAPH は、アジア地域にてシーグラ

フアジア (SIGGRAPH Asia) を開催。アジア各都市にて毎年開催されており、世界中の何千人ものコンピュータ・グラフィックプロフェッショナルが参加する国際学会会議。

2019年の開催情報：会期：11月17日～20日 開催地：オーストラリア・ブリスベン

詳細は下記を参照。

ウェブサイト：<http://sa2019.siggraph.org>

Facebook, Twitter, Instagram, YouTube でも情報公開中。

※ハッシュタグ #SIGGRAPHAsia および

SIGGRAPHAsia2019

ACM SIGGRAPH について

コンピュータ科学分野の国際学会 (ACM: Association of Computing Machinery)。

主な会員は研究者、開発者はじめ、世界中からの技術者、教育者、学生、ビジネス関係者から構成されている。

詳細はこちらを参照。 www.siggraph.org

ケルンメッセについて

ケルンメッセは毎年約80の見本市、2000件以上のコングレスを主催・運営。

また、主催する見本市は25の産業界で世界トップの規模と実力を誇る見本市会社。

ケルンメッセ主催のドイツにおける見本市には、ドイツ以外の国々から6割の出展者と4割にもなる来場者が訪れ、各業界の流通可能な商品カテゴリーの約90%を網羅している。

主な専門見本市としては国際家具見本市 imm Cologne、アヌーガ (Anuga) 世界食品メッセ、世界最大級のモーターサイクルショーインターモト (intermot)、イメージング産業に特化した Photokina、コンピュータゲームの専門見本市 Gamescom などがある。

ケルンメッセは SIGGRAPH Asia を過去11年にわたりイベントオーガナイザーとして運営に携わってきた。

企業情報の詳細は下記を参照。

www.koelnmesse.com.sg (英語)

www.koelnmesse.jp (日本語)

シーグラフアジア 2021 東京

会期：2021年12月14日～17日 (4日間)

会場：東京国際フォーラム

予定参加者数：約10,000名 (うち海外より約2,400名)

主催：SIGGRAPH ASIA

概要：コンピュータ・グラフィックス及びインタラクティブ技術に関する研究成果を情報共有する国際学会会議。アジア各都市にて毎年開催されており、日本での開催は2009年の横浜大会、2015年の神戸大会、2018年の東京大会に続き今回で4回目。

問合せ先：(英語) Jamie Huang, Koelnmesse Pte Ltd jamie.huang@siggraph.org

(日本語) シーグラフアジア日本事務局 (ケルンメッセ株式会社内) kmjpn@koelnmesse.jp 03-5793-7770

◆キヤノン：5.9K フルサイズセンサーと新開発の映像処理プラットフォームを搭載 拡張性に優れたデジタルシネマカメラ “EOS C500 Mark II” を発売



キヤノンは、映像制作機器 CINEMA EOS SYSTEM の新製品として、デジタルシネマカメラ “EOS C500 Mark II” を2019年12月下旬より発売すると発表した。

新製品は、5.9K フルサイズセンサーと新開発の映像処理プラットフォームを搭載したデジタルシネマカメラだ。ユーザーが撮影現場に応じて自由にカスタマイズできるモジュールデザインを採用しているため、拡張性に優れており、高品位な映像が求められる映画やドラマから、機動力が重視されるニュースやドキュメンタリーまで、幅広い映像コンテンツの制作に対応するとしている。

■小型・軽量ながら 5.9K フルサイズセンサーによる高画質を実現

新製品は小型・軽量ながら、5.9K フルサイズセンサーを搭載しており、最大で15+ストップの^{*1}広いダイナミックレンジの実現により、明暗差の大きい環境でも、高画質な映像を撮影することが可能としている。

また、高速処理が可能な新開発の映像処理プラットフォーム「DIGIC DV 7」の搭載により、5.9K RAW/60P および 4K/60P 記録を実現しているほか、2K/120P 記録が可能。

■CFexpress TypeB カードへの対応などにより快適なワークフローを実現

映像の情報を維持しながらデータサイズを軽くすることができるビデオフォーマット「Cinema RAW Light」を採用しており、外部レコーダーを使用せずに RAW データを本体内部に記録することが可能。また、動画データを圧縮し効率的に記録する「XF-AVC」に対応している。記録メディアは、キヤノンのビデオカメラとして初めて CFexpress Type B カードと、UHS-II 規格の SD カードを使用できる^{*2}。HDR 方式は、放送やライブ配信に適した「HLG (Hybrid Log-Gamma)」と映画制作やネット配信に適した「PQ (Perceptual Quantization)」に対応している。

■さまざまな撮影スタイルに対応できる優れた拡張性を提供

別売りのマウントキットを使用することで、撮影環境に合わせてユーザー自身で EF マウントから、EF シネマロックマウントまたは PL マウントに交換することが可能。別売りの拡張ユニットを装着することで、複数台のカメラによる撮影や遠隔操作が必要なドローン撮影など、さまざまな撮影スタイルに対応できる。

製品名：EOS C500 Mark II

希望小売価格 発売日 オープン価格 2019年12月下旬

^{*1} ストップとは、ダイナミックレンジを表す単位。1 ストップ上がると、撮影可能な明るさの範囲が倍になります。最大ストップ数は記録モードにより異なります。

^{*2} 「Cinema RAW Light」は、CFexpress Type B カードにのみ記録可能。

キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

● 一般の方のお問い合わせ先：キヤノンお客様相談センター

050 - 555 - 90006

● CINEMA EOS SYSTEM ホームページ：

canon.jp/cinema-eos

◆キヤノン：4K 放送用カメラ対応ポータブルズームレンズ “CJ15e × 4.3B” を発売

クラス最広角の広角端 4.3mm と最高倍率 15 倍ズームを実現



キヤノンは、2/3 型センサー搭載の 4K 放送用カメラに対応するポータブルズームレンズの新製品として、広角ズームレンズ “CJ15e × 4.3B” を2020年1月下旬より発売すると発表した。

“CJ15e × 4.3B” は、2/3 型センサー搭載の 4K

カメラに対応する高い光学性能を持つ、光学性能を重視したハイエンド向けのポータブルズームレンズ「UHDxs」シリーズの広角ズームレンズ。

シリーズの特長である高い光学性能を備えながら、クラス最広角^{*1}の広角端 4.3mm とクラス最高^{*1}の高倍率 15 倍ズームを両立し、スポーツ中継や各種番組制作のロケなど、多彩なシーンにおいて、臨場感あふれる高画質な映像表現が可能です。キヤノンは、4K 放送用カメラに対応するポータブルズームレンズのラインアップを拡充し、幅広いユーザーの要望に応じていくとしている。

■クラス最広角の広角端 4.3mm とクラス最高倍率 15 倍ズーム

広角端 4.3mm、高倍率 15 倍ズームにより、スタジアムの全景や広大な景色などの撮影に適している。また、広角端 4.3mm と最至近撮影距離約 0.3m を実現しており、スペースの限られた場所や被写体に接近した撮影が可能。

■4K 放送用カメラに対応する高い光学性能

蛍石、UD レンズ^{*2}、スーパー UD レンズ^{*2}を採用し、それらを最適配置する独自の光学設計技術により、色にじみや色収差を良好に補正し、ズーム全域で画面中心から周辺部まで優れた色再現性を実現している。また、キヤノン独自の特殊コーティング技術「ASC (Air Sphere Coating)」により、フレアやゴーストを抑制し、HDR^{*3} や WCG^{*4} 撮影においても、階調豊かな映像表現が可能。

■小型・軽量の筐体で高い機動性と操作性

4K 光学性能を持ちながら、質量約 2.19kg^{*5}、外形寸法約 163.0 (幅) × 107.6 (高さ) × 249.6 (長さ) mm と、HD 放送用カメラ対応レンズと同等の小型・軽量の筐体を実現し、報道やドキュメンタリーなどの分野に求められる高い機動性を確保し、撮影者の負担を軽減するとしている。

製品名：CJ15e × 4.3B

参考価格 発売日：オープン価格 2020年1月下旬

^{*1} ENG スタイル (報道現場などで肩に担いで撮影する方式) で撮影可能な広角端 5.0mm 以下の 2/3 型センサー搭載の広角ズームレンズにおいて、2019年9月5日現在。キヤノン調べ。

^{*2} 「UD (Ultra Low Dispersion = 特殊低分散) ガラス」を用いたレンズ。スーパー UD レンズは、UD レンズの性能をさらに向上させたレンズ。

^{*3} High Dynamic Range の略。映像の明部と暗部の輝度差 (ダイナミックレンジ) を向上させる技術。

^{*4} Wide Color Gamut の略。映像の色域 (カラーガンマ) を広げる技術。

^{*5} IASE S の場合。IRSE S の質量は約 2.11kg。IASE S はフォーカスサーボ有、IRSE S はフォーカスサーボ無。

キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

● 一般の方のお問い合わせ先：キヤノンマーケティングジャパン株式会社 03 - 3740 - 3304 (直通)

イメージングソリューション営業部

● 放送・業務用映像機器ホームページ：canon.jp/bctv